

施策番号	2105		
施策名	まちづくりを支えるしくみづくり		
概要	さまざまな地域でそれぞれの地域特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、まちづくり活動支援やしくみづくりを推進する。また、京都市景観・まちづくりセンターと連携して情報発信、相談事業等の支援を行う。		
担当局・部室	都市計画局・都市企画部	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関する主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン、職住共存地区整備ガイドプラン、新・京都市南部創造まちづくり推進プラン、らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム		

施策の評価

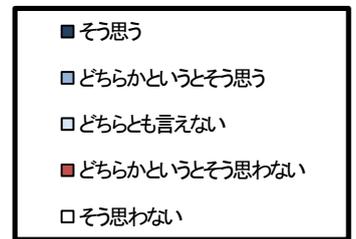
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 地区計画、建築協定及び景観協定の締結数(件)	-	c	126	126	4件増	0.0%	e	1.00
2 景観・まちづくりに関する相談件数(件)	-	-	573	1,213	684件	177.3%	a	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		c	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。	20 4.1%	122 24.8%	225 45.8%	79 16.1%	45 9.2%	491	c	
2 -								
3 -								
4 -								
5 -								
		市民生活実感調査総合評価						c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている					23年度	C
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	c	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 客観指標は地区計画等の締結数及び景観・まちづくりに関する相談件数としており、少なくともこれらの対象となる地域では地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化が展開されていると判断されるが、全ての地域の自主的なまちづくり活動を捕捉したものではないため、全般的な状況が捉えられる市民生活実感調査を優先している。						年度	-
(原因分析) ・地域の主体的なまちづくり活動に対する支援は、これまでから様々な地域で行なっており、まちの将来像の共有、その実現に向けた自主的なまちづくりのルール化を進めてきたことから、市民の実感としてcという一定の評価を得た結果となった。 ・平成23年度は、評価上の地区数に関して、地区計画が1件増だったが、建築協定が新たに1件締結されたのに対し、2件の有効期間満了による失効があったため、前回数値からの推移がなく、客観指標においてeという評価となった。 ・平成19年度以降の景観・まちづくりに関する相談件数(H19:453件, H20:470件, H21:712件, H22:573件, H23:1213件)は年度により若干の推移はあるが、特に平成23年度においては、京町家なんでも相談の往訪相談を積極的に実施した結果、前年度に比べ相談件数が大幅に増加しa評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		23年度決算額	24年度予算額		
1	都市計画運営経費	156,964	166,324	良い	都市計画局
2	まちづくり条例の運用	8,099	8,245	かなり良い	都市計画局
3	まちづくりに係る調査・企画・支援事業	53,019	61,148	かなり良い	都市計画局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・様々な地域でそれぞれの地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、引き続き、京都市景観・まちづくりセンターや各区役所と連携して、まちづくり活動の支援や仕組みづくりを推進していく。
 ・京都市景観まちづくりセンターと連携しながら、職住共存地区に限らず市域全体を対象に、まちづくりビジョンの作成や、都市計画手法の活用を念頭に置いた地域まちづくり支援を行う。

施策名	2105	まちづくりを支えるしくみづくり									
指標名	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数（件）										
担当課	都市づくり推進課		連絡先	222-3503							
1 指標の説明											
地区計画、建築協定及び景観協定の締結数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標			出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度					
数値	126	126	増減なし	4件増	平成32年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（今後10年間で155件の締結を達成するため、年平均3.2件以上締結）	0.0%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
前回数値と比較し、 a：4件以上増 b：3件増 c：2件増 d：1件増 e：0件以下		・目標値を達成すればa評価 ・以下1件刻みでb～e評価 ※なお、協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合、地区数が減少することになるが、協定の区域は変わらないため、地区数の減はカウントしない。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>c</td> <td>e</td> </tr> </table>			23	24	-	c	e
	23	24									
-	c	e									
指標名 景観・まちづくりに関する相談件数（件）											
担当課	都市づくり推進課		連絡先	222-3503							
1 指標の説明											
景観・まちづくりセンターで受け付けた景観・まちづくり活動相談及び京町家なんでも相談の合計件数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
市内各地域における地域まちづくりの機運の高まりを示す指標			出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度					
数値	573	1,213	640件増	684件	平成19年度以降の年間相談件数の平均値	177.3%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値					市内各地域における地域まちづくりの機運の高まりを示す指標として今年度から新たに設定						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
目標数値と比較し、 a：130%以上 b：110%以上130%未満 c：90%以上110%未満 d：70%以上90%未満 e：70%未満		・目標値に対する達成度が100%の場合をc評価の中心と設定 ・20%刻みでa～e評価		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>a</td> </tr> </table>			23	24	-	-	a
	23	24									
-	-	a									